

## プロジェクトチーフアドバイザー交代

織田チーフアドバイザーが2年間の任期を終え帰国します。今後は後任の百生チーフアドバイザーが業務を引き継ぎますので引き続き当プロジェクトへのご支援をよろしくお願いいたします。新旧チーフアドバイザーよりご挨拶申し上げます。



Steering Committee メンバー：左からプロジェクト秘書、ポンパン課長、スワリー専門官、織田 CA、サワニー部長、百生 CA、古川

織田チーフアドバイザーの後任として4月19日に着任しました。

タイ政府は、国内のNGOだけではなく、国際機関や国際NGOとパートナーシップを組んでタイをはじめとするメコン地域で人身取引分野における協力体制を築いています。人身取引というグローバルな課題の中でダイナミックな動きがみられるタイでプロジェクトに携わ

この度、2年間のチーフアドバイザーの任期を終え、百生さんに引継ぎ4月27日に離任します。在任中は大変お世話になりました。お蔭でプロジェクトの活動も軌道に乗り、さまざまな活動を展開できるようになりました。中でも2010年度MDTメンバーの貴重なご経験に基づいてMDT実施ガイドラインを1年かけて参加型で作成できたことは大きな喜びです。ワーキンググループの意気込みが感じられ、本当に頼もしく思ったことでした。このほか日・タイワークショップ（本邦研修）、メコン地域からの参加者を招いてのワークショップなども大きな行事で、準備から報告書の作成まで数カ月を要しましたが、カウンターパートおよびMDTメンバーの協力により実施できたことは大きな喜びです。これらの活動を通じて、数値では表せませんが、BATWCの調整力や求心力は一層高まり、MDTの一体感も増してきたと実感しています。

この2年間の活動を恙無く終えることができたのは、カウンターパートおよび関係者の熱意とご協力のお蔭です。本当に有難いことでした。重ねてお礼申し上げます。（織田）

れることを大変光栄に感じています。

今回、タイ側カウンターパートであるBATWCに暖かく迎えられました。これは織田専門家と古川専門家が築いた信頼関係のおかげだと実感すると同時にプレッシャーも感じております。

BATWC/JICAオフィスにはプロジェクト開始以来行ってきた調査やセミナー等の報告書が数々あり、それらには分析結果と課題が記してあります。プロジェクト開始3年目である今年度は、それらの結果を基にプロジェクト目標達成のための活動を行わなければなりません。タイ政府、JICAタイ事務所、JICA本部の智恵をお借りしながらタイのカウンターパートと共に前進していきたいです。よろしくお願いいたします。（百生）